

関連科目、教科書および補助教材	
関連科目	国語 I
教科書	「高等学校現代文B」(第一学習社)「高等学校古典B」(第一学習社)
補助教材等	「ステップアップ高校漢字問題集」(東京書籍)、「カラー版新国語便覧」(第一学習社)、国語辞書
学習上の留意点	
<ul style="list-style-type: none"> ・漢字テストは「小テスト」の一つとして評価する。 ・読書一行感想カードと読書感想文は「レポート」として評価する。 ・提出物については、厳しく対応する。締切を厳守すること ・古文の授業では、図書館にある教科図書を活用する。各自で閲覧し、学習しておくこと。 ・授業中、プリントを配付する。ファイルを準備し、整理しておくこと。 <p>※注意 国語 I (3単位)の最終成績は、国語 I (現代文・古文)と国語 I (漢文)を2:1として評価する。</p>	
担当教員からのメッセージ	
<p>国語 I に引き続き、学力の要となる国語の力をしっかり鍛えます。人は、自分を取り巻く世界を「ことば」で理解します。「ことば」を学ぶということは、他者と関わる方法を知ることです。そして、他者と関わるということは、自分が生きる世界を広げていくことです。何事も最初から決めつけたりせずに、「ことば」で考えながら様々な角度で物事を見てみましょう。あなたの世界は必ず、広がっていきます。</p>	

授業の明細			
回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 (予習・復習)
1	ガイダンス 評論(一)①	シラバスを読み、授業の概要、学習到達目標、成績評価方法を理解する。	予習と復習:シラバスを熟読する。
2	評論(一)②	田中真知『美しい』を探す旅に出よう』を読み、評論文を読む方法を身につける。	予習:ことばの意味調べをしておく。漢字学習をする。
3	評論(一)③	・接続語や指示語等に注目しながら文脈を把握することができる。 ・表現に即して文脈を正確に読み取り、筆者の経験について理解できる。 ・筆者のものの見方や考え方が理解できる。	復習:学習プリントを読み直し、理解しておく。
4	変体仮名を読む	・仮名文字の成り立ちと文学活動の連関について理解できる。 ・変体仮名の読み方を習得できる。	復習:学習プリントを読み直し、理解しておく。
5	古文 随筆①	『枕草子』を読み、古典文学の鑑賞方法を身につける。	予習:教科書本文を読んでおく。
6	古文 随筆②	・基礎的な古文文法や古語が理解できる。 ・随想及び『枕草子』の基礎知識を習得できる。 ・作品に関わる人物について理解できる。 ・現代における享受のありかたを理解できる。	復習:学習プリントを読み直し、理解しておく。
7	古文 随筆③		
8	詩	茨木のり子「わらしが一番きれいだったとき」を読み、詩を鑑賞する方法を理解する。 ・音読を味わうことができる。 ・表現上の工夫をとらえることができる。	復習:学習プリントを読み直し、理解しておく。
9	前期中間試験		
10	答案返却・解説 評論(二)①	試験解説により、問題の解き方を理解する。	予習:ことばの意味調べをしておく。漢字学習をする。
11	評論(二)②	小林隆「日本語史の『当たり前』」をもとに評論の読解の方法を身につける。	復習:学習プリントを読み直し、理解しておく。
12	評論(二)③	・接続語や指示語等に注目しながら文脈を把握することができる。 ・表現に即して文脈を正確に読み取り、筆者の経験について理解できる。 ・筆者のものの見方や考え方が理解できる。	
13	評論(二)④		
14	古典文学史	・主要な古典文学作品の概要と文学史の流れを理解することができる。	復習:学習プリントを読み直し、理解しておく。
	前期末試験		
15	答案返却・解説 読書感想文の書き方	・試験解説により、問題の解き方を理解する。 ・読書感想文の書き方を学習する。	

授 業 の 明 細			
回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 (予習・復習)
16	小説①	重松清「タオル」を読み、小説を自分なりに鑑賞する方法を理解する。 ・場面の展開を理解し、作品の構成を把握できる。 ・登場人物の心情を把握し、描写を味わうことができる。 ・表現上の工夫をとらえることができる。	予習:ことばの意味調べをしておく。漢字学習をする。 復習:学習プリントを読み直し、理解しておく。
17	小説②		
18	小説③		
19	近現代の文学史	・近現代の主要な文学作品の概要と文学史の流れを理解することができる。	予習と復習:学習プリントのチェック事項を理解する。
20	評論(三)①	榎本博明「自己とは一つの物語である」を読み、評論文の読み方を身につける。 ・接続語や指示語等に注目しながら文脈を把握することができる。 ・段落同士の関係に注意しながら、論理の展開や要旨を的確にとらえることができる。 ・抽象的な事象について、具体例を補いながら読解することができる。 ・筆者のものの見方や考え方が理解できる。	予習:ことばの意味調べをしておく。漢字学習をする。 復習:学習プリントを読み直し、理解しておく。
21	評論(三)②		
22	評論(三)③		
23	後期中間試験		
24	答案返却・解説 物語①	『源氏物語』を読み、古典文学の鑑賞方法を身につける。 ・基礎的な古文文法や古語が理解できる。 ・場面を読解し、味わうことができる。 ・『源氏物語』の基礎知識を習得し、現代に至るまでの享受の様相を知る。	予習:教科書本文を読んでおく。 復習:学習プリントを読み直し、理解しておく。
25	物語②		
26	評論(四)①	古郡延治「メディアの豊かさ」を読み、評論文の読み方を身につける。 ・接続語や指示語等に注目しながら文脈を把握することができる。 ・段落同士の関係に注意しながら、論理の展開や要旨を的確にとらえることができる。 ・抽象的な事象について、具体例を補いながら読解することができる。 ・筆者のものの見方や考え方が理解できる。	予習:ことばの意味調べをしておく。漢字学習をする。出題された「考察」を行っておく。 復習:学習プリントを読み直し、理解しておく。
27	評論(四)②		
28	評論(四)③		
29	評論(四)④		
	学年末試験		
30	答案返却・解説 まとめ 授業改善アンケートの実施	試験解説により、問題の解き方を理解する。	
総 授 業 時 間 数			60 時間

関連科目、教科書および補助教材	
関連科目	国語 I
教科書	「高等学校古典B」(第一学習社)
補助教材等	「新版初訂カラー版新国語便覧」(第一学習社)
学習上の留意点	
<p>授業では、音読と訓点に重点を置く。詩文の背景の説明の詳しく行う。 ガイダンスでは、ノート標準的な使い方を教えるが、各自で書き込み方に工夫を凝らし、復習に生かして欲しい。 ちなみに、「その他」は「復習カード」の提出である。授業のポイントを3行程度の短い説明文いすることで、要点をまとめる力、短文を書く力を身につけてもらいたい。</p> <p>※注意 国語Ⅱ(3単位)の最終成績は、国語Ⅱ(現代文・古文)と国語Ⅱ(漢文)を2:1として評価する。</p>	
担当教員からのメッセージ	
<p>漢文は非常に完成度の高い人工言語である。そして訓読漢文は日本人が血肉としてきたものである。訓読によって、省略されることの多い主語や目的語が分かり、品詞や時制が分かるようになる。 日本語は、いつ、どこで、誰が、といったことを曖昧なままで使うことができる言語である。そんな日本語にとって、訓読漢文は外してはならない芯なのである。訓読漢文に親しみ、読めるようになって、日本語の力はさらに上昇するだろう。</p>	

授 業 の 明 細			
回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 (予習・復習)
1	ガイダンス 故事・寓話①	授業の進め方、ノートの取り方、復習カードの書き方を理解する。	(復習)復習カードを書く。 (予習)小テストの準備をする。
2	故事・寓話②	「推敲」「嬰逆鱗」をもとに訓読漢文の読み方を身につける。	(復習)復習カードを書く。 (予習)小テストの準備をする。
3	故事・寓話③	・訓読漢文を音読できる ・背景を理解できる ・句法を正確に理解し、適切な日本語で現代語訳できる ・復文ができる	(復習)復習カードを書く。 (予習)小テストの準備をする。
4	漢詩の鑑賞①	教科書の漢詩をもとに漢詩の鑑賞のやり方を理解する。	(復習)復習カードを書く。
5	漢詩の鑑賞②	・漢詩の読解の仕方を理解できる ・漢詩の鑑賞文の書き方を理解できる ・指定された書き方で鑑賞文がかかる	(復習)復習カードを書く。
6	漢詩の鑑賞③		(復習)復習カードを書く。
7	漢詩の鑑賞④		(復習)復習カードを書く。
8	漢詩の鑑賞⑤		(復習)復習カードを書く。 漢詩の鑑賞文を書く。
9	中間試験		
10	答案返却・解説 志怪と伝奇①	試験解説により、漢文・漢詩の理解を深める。	(復習)復習カードを書く。 (予習)小テストの準備をする。
11	志怪と伝奇②	「新死鬼」を読むことで、中国の古小説の読み方を理解する。	(復習)復習カードを書く。 (予習)小テストの準備をする。
12	名家の文章①	・訓読漢文を音読できる ・背景を理解できる ・句法を正確に理解し、適切な日本語で現代語訳できる ・復文ができる	(復習)復習カードを書く。 (予習)小テストの準備をする。
13	名家の文章②		(復習)復習カードを書く。 (予習)小テストの準備をする。
14	名家の文章③		(復習)復習カードを書く。 (予習)小テストの準備をする。
	前期末試験		
15	答案返却・解説 まとめ 授業改善アンケートの実施	試験解説により、漢文の問題の解き方の理解を深める。	
総 授 業 時 間 数			30 時間